

緑の時計台



2020年10月26日発行
神栖市立大野原西小学校
児童数 452名
文責 花ヶ崎圭一郎

大野原西小3つのキーワード

あいさつ あんぜん あきらめない

各学年の遠足 実施中 (5年生は11月25日実施予定)

10/6 1年…大洗水族館 10/16 2年…ゆめ牧場 10/15 3年…筑波山
10/21 4年…ひたち海浜公園 10/14 6年…ツインリンクもてぎ



10月に入り、子供たちが楽しみにしていた遠足を実施しました。今年の10月は天候が不安定でしたが、5つの学年とも予定通り実施することができました。1年生は約束をしっかりと守る、2年生はグループで仲良く行動、3年生は励まし合い筑波山を登山、4年生はグループで協力して声をかけあい仲良く一日過ごす、6年生は友達とのグループ活動で絆を深める、などそれぞれが学年に応じて活動した有意義な行事となりました。コロナ禍の中でも子供たちは日々楽しみを見つけて学校生活を送っていますが、この日は特別楽しい思い出を残すことができたようです。



読み聞かせ

本校の保護者有志の方々を中心に『オリーブ』という名称で読み聞かせのボランティア活動を行っていただいています。現在は新型コロナウイルス対応のため、1～3年生までを対象として、放送による読み聞かせを月2回程度、朝の時間に実施しています。

子供の表情・反応・空気感など対面ならではの良さは生かせませんが、楽しみにしている子供たちのためにと活動を続けていただいています。ありがとうございます。

地域コミュニティと通学路の安全

大野原地区には「神栖四中地域コミュニティ協議会」(以下コミ協)という地域組織があります。10月1日付でコミ協からのチラシが配付されたかと思いますが、挨拶運動・登下校の見守り、学校の除草作業・地域イベントの実施など様々な活動行っています。コロナ禍で見合わせていた挨拶運動や見守りなども再開していただくなど、西小学校をはじめ神栖四中学区の子供たちは多くの地域の方々から支えられています。

また先日学校では、登校班の班長を中心に通学路の安全点検を実施し、通学路マップに記入する作業を行いました。この後、教育委員会・教職員に加えコミ協の皆様にも協力していただき、大人の目で通学路の安全を確認し、警察署・市道路整備課・地域など必要な機関に改善に向けて働きかけていく予定です。

オリーブ 朝の朗読タイム
低学年のみ

	タイトル	かいた人
10月5日	どろろ(だいら) 勇のうた	ウシロマン 2の野田
10月19日	いっから いっから ペンギン たけけんたい	長谷川 義史 斎藤 洋
11月2日		
11月16日		
12月7日		
12月21日		



大野原西小スタイル ……主体的で対話的で深い学び

大野原西小スタイルって何？

大野原西小では、「主体的で対話的で深い学び」をすすめていく一つの方法として、「大野原西小スタイル」という学習の流れを取り入れて授業をすすめています。各自課題をつかみ、1時間の授業の中で個人・グループ・クラスと様々な方法で学習をすすめていきます。

「主体的で対話的で深い学び」については、文部科学省のHPに保護者の皆様に向けて分かりやすいパンフレットが掲載されています。

『生きる力学びのその先へ 保護者』と検索していただくとご覧いただけます。



① 今日の問題をつかむ



② 一人で考える



③ グループで考える
ソーシャルディスタンスを考えた机配置



④ クラスみんなで考える



⑤ 学習のまとめも子供たちの考えを取り入れます



⑥ 毎時間学習を振り返る
(分かったこと・疑問など)

このような学習をすすめることで、

- 一人一人の子供たちは授業に集中しやすくなる
- 自分で物事を考える習慣がつく
- みんなの前で説明する力がつく
- 図や言葉で自分の考えを表現する力がつく

など、様々な効果が少しずつできます。

また、毎時間の振り返りやグループでの学習は、本校の目標の一つである、「自分や他者を大切にする」心づくりにもつながります。



児童による授業の進行

このような学習は、毎時間実施しているわけではなく教材の内容に応じて取り入れています。これからの時代を生きる子供たちに、目には見えないけれど大切な力をつけていきたいと考えています。

